

これからの活躍に期待 274人が新成人に



町教委が主催する「当別町成人式」が、町総合体育館で開かれました。今年晴れて成人を迎えたのは、男148人・女126人の計274人。このうち、男84人・女74人が式に出席しました。

式では、泉亭町長が「成人された皆さんは、町の大切な財産。若い皆さんに町を変えていくための力を貸して頂きたい。多くの町民に期待されている皆さんは、自分の夢を持ってどうぞ頑張ってください」と激励しました。また、成人者を代表して、寺島輝くん（栄町）と江口奏さん（西町）が「どんな時でも責任から逃げず挑戦する気持ちを持ち続けて行きたい」と誓いを述べました。このあとに用意された立食パーティーでは、記念品として渡された使い捨てカメラを手に記念写真を写したりと、友人との久々の再会を楽しんでいました。（1月11日）



気を引き締めて弓を射る



町弓道連盟(後藤正洋会長)恒例の「^{はつしゃかい}初射会」が町総合体育館弓道場で開かれました。

一年の安全を願って道場を清めた後、後藤会長が「弓道は自分との戦いですが、人を敬う精神の基、会員間の信頼を高めることが結果に現れる」と会員を激励。

高橋豊治副会長が張り詰めた空気の中、行事始めの儀式「矢渡し」の奉射^{あらまど}を行い、続いて会員らが28メートル先の「新的」に向かって20射を放ち、今年一年の上達を願いました。（1月12日）

広報誌で紹介した写真を希望者に提供します。
●お申し込み●
秘書課広報広聴係 ☎ 3-3069 へ



「新年交礼会」で年頭の誓い



消防出初式で誓い新たに



消防職団員ら 230人は消防出初式を前に行われた観閲で、総合体育館前を隊列

を組みながら整然と行進しました。

館内で行われた式では、消防管理者の泉亭町長が「火災と救急の発生件数が増加傾向にある。あらゆる災害から住民の生命、財産を守るために更なる研鑽と消防行政に協力を」と挨拶。

その後、永年勤続功労章で消防庁長官表彰を受けた坂井清一さん（ビトエ）らの受章者報告、小沢好和さん（ビトエ）ら 56 人に北海道知事表彰（20 年勤続）や感謝状などが贈られました。

また、河村和彦消防団長が「消防知識の習得と技能の訓練に励み町民を災害から守る努力を決意する」と決意表明しました。（1月7日）



町主催の「新年交礼会」が田西会館で開かれ約 270 人の関係者が出席しました。

泉亭町長は、「今年は農業を軸として、持続できる美しい農村を目指す施策を打ち立てて当別町を魅力ある町にしていきたい。合併について新篠津村の中では、当別町と 1 町 1 村で合併することに不安が広がっていると聞いているが、1 月中には合併協議を継続するかの決断をしたい。今年も、当別町発展のため町民の皆さんの絶大なるご支援とご協力をお願いしたい」と新年の抱負を語り、今年度町政功労者賞を受賞された方々と鏡開きを行いました。（1月4日）

カルタで争奪戦を展開



総合体育館を会場に町子ども会育成連合会が主催した 33 回目の「新春子どもカルタ大会」。この日は、小学生の部 24 チーム、中学生の部 16 チームが参加。子ども達は百人一首に真剣な眼差しを注ぎ熱戦を繰り広げました。結果は小学生の部、中学生の部共にスターライト子ども会が昨年に引き続き優勝しました。（1月18日）

短期語学研修の高校生 2 人が帰国



アデラント市役所内

米国のカリフォルニア州に昨年 12 月 23 日より 21 日間の短期留学を終え帰国した、町内高校生、横内太一くん（園生）と館田和佳さん（樺戸町）が泉亭町長に語学研修の報告をしました。

2 人は町の人材育成基金「高校生の短期留学ホームステイ語学研修事業」に参加し、期間中ロサンゼルス郊外アデラント市の別々の家庭にホームステイをして、語学研修や地元の高校に通うなどの交流事業を行いました。

横内くんは、「日本のお正月のように新年を盛大に祝う習慣がないなど文化の違いに驚いた」と、館田さんは「驚かされることばかりだったけど楽しかった。今度は、高校のカナダ短期留学に参加してみたい」と報告していました。

泉亭町長は、「これを機会に何回も海外に行って人生観を変えてください」と激励をしました。（1月19日）